

けんせつ局報

2022年8月号

未来を創ろう ～みち・水・緑～

環状七号線（足立区加平）～無電柱化整備後～



1 けんせつ HEADLINE

- | | |
|--|------|
| ◆ ガーナ共和国同省大臣の視察について
【総務部/土木技術支援・人材育成センター/（公財）東京都道路整備保全公社】 | P. 2 |
| ◆ 夏の六義園～お江戸歴史探検～
【（公財）東京都公園協会 六義園】 | P. 3 |

2 事務所通信

- | | |
|---|------|
| ◆ 環七地下広域調節池工事 環七の地下を掘進中です
【第三建設事務所】 | P. 4 |
| ◆ 「土木技術講習会」 開催しました
【土木技術支援・人材育成センター】 | P. 5 |
| ◆ 大島川水門テラス連絡橋の完成について
【江東治水事務所】 | P. 6 |

3 コラム「交差点」

- | | |
|---------------------------------------|------|
| ◆ 公園巡りの休日
【東部公園緑地事務所 補修担当課長 中田 和範】 | P. 7 |
|---------------------------------------|------|

4 けんせつ information

- | | |
|---|-------|
| ◆ こころの健康相談室から Vol.157 | P. 8 |
| ◆ ココロとカラダのリフレッシュ いやし啓発事例コーナー
【西多摩建設事務所 補修課 補修設計担当 倉田 佳歩】 | P. 9 |
| ◆ 東京水辺ライン イベント便のご案内 | P. 10 |
| ◆ 建設局に寄せられた都民の声（6月分） | P. 11 |
| ◆ けんせつ局報の掲載記事を募集しています | P. 13 |

5 けんせつ日記・編集後記

- | | |
|-------------------|-------|
| ◆ けんせつ日記（7月）・編集後記 | P. 14 |
|-------------------|-------|





ガーナ共和国道路省大臣の視察について

総務部・土木技術支援・人材育成センター
(公財) 東京都道路整備保全公社

6月29日(水)ガーナ共和国の道路省大臣、道路公団総裁、在日ガーナ共和国日本大使など10名が(公財)東京都道路整備保全公社 土木材料試験センターと土木技術支援・人材育成センターを視察しました。

ガーナ共和国においては、かねてより建設材料の公的試験機関設立の構想があり、日本の建設材料試験機関への関心もあるとのことで、今回の視察が実現しました。

最初に、土木材料試験センターでは、アスファルトやコンクリート等に関する数種類の試験装置や実際の試験の様子をご覧になられ、アスファルトの密度試験では、密度試験を実施する際に交通量を考慮するのか等のご質問がありました。また、鉄筋の引張試験では、鉄筋が断裂する際の大きな音に大臣をはじめ、御一行の皆様が驚かれていました。

次に、土木技術支援・人材育成センターでは、遮熱性舗装、排水性舗装などについて説明しました。とりわけ、排水性舗装については、本当にスパイラルパイプを通して排水管に流れていくのかと排水のメカニズムに非常に興味をお持ちでした。また、『路面のひび割れがどの程度であれば補修、どこまでいくと全面打ち換えになるのか、基準はあるか。』などのご質問も頂きました。

視察後の道路局長からのご挨拶で、『我々もガーナで多くの道路を管理している(国道はアスファルトがほとんどで、コンクリート舗装は2%程度とのこと)ため、今日説明頂いた各種試験については非常に勉強になった。』『維持管理を行っていく上で、初期(建設時)の品質管理が非常に重要であることは認識しており、今後のガーナの道路品質の向上に繋げていきたい。』とのお言葉を頂きました。

今回の視察が、ガーナ共和国の技術力向上に繋がると幸いです。



【土木材料試験センター視察状況】



【土木技術支援・人材育成センター視察状況】



【視察後 集合写真】



夏の六義園～お江戸歴史探検～

(公財) 東京都公園協会 六義園

六義園では、クイズに回答しながら園内の各所を巡る「六義園アドベンチャー」や六義園特製ちょうちんを片手に法被姿で記念撮影をしていただける「ちょうちん片手に記念撮影」といった、親子で遊びながら体験できる催しを開催します。歴史と緑あふれる六義園で、江戸の文化を楽しんでみませんか。

日 時 令和4年8月13日(土)～21日(日)

(1) 六義園アドベンチャー

時 間 9時～15時
場 所 園内全域
内 容 園内の各所に掲示された六義園に関するクイズに答えながら、園内を巡ります。
参加費 無料(入園料別途)
参加方法 サービスセンター窓口にて解答用紙を受け取り、クイズに答えていきます。参加者の方には、景品を差し上げます。



【六義園アドベンチャー】

(2) ちょうちん片手に記念撮影 ※雨天中止

時 間 9時30分～16時
場 所 サービスセンター横
内 容 六義園特製ちょうちんを片手に法被姿で記念撮影をしていただけます。
参加費 無料(入園料別途)



【ちょうちん片手に記念撮影】

アクセス

JR 山手線・東京メトロ南北線 駒込駅下車 徒歩7分
都営三田線 千石駅下車 徒歩10分

■公園へ行こう！六義園

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index031.html>

■公式 Twitter

<https://twitter.com/RikugienGarden>



ホームページ



Twitter



緑と水 まちを豊かに

公益財団法人 東京都公園協会



環七地下広域調節池工事 環七の地下を掘進中です 第三建設事務所

環七地下広域調節池は、神田川・環状七号線地下調節池と白子川地下調節池を連結する延長 5.4 km、内径 12.5m のトンネル式地下調節池です。妙正寺川立坑から環状七号線や目白通りの地下約 32～40m の位置を通り、石神井川立坑までシールド工法によりトンネルを構築します。平成 29 年に工事着手し、令和 2 年 3 月にシールドマシンによる掘進を開始しました。

妙正寺川立坑は約 20 年前に施工され、坑口部分が鉄筋コンクリートの仮壁となっていました。こうした場合、通常、立坑の外側の地盤を凍結させるなど土砂崩壊防止の対策を行い、仮壁を撤去した後にシールドマシンによる掘進を開始しますが、本現場は立坑に住宅が隣接しており、このような対策が困難であったため、仮壁をシールドマシンで直接切削する工法を採用しました。

この工法は、これまで事例がないことから、途中段階でシールドマシンを止めて点検を行い、マシンへの影響を確認したところ、ビット（マシンの先端に装着されている超硬合金製の刃）の損傷が確認されました。

このため、有識者を入れた委員会を設置し、対策を検討しました。実際の切削の様子を見ることができないため、ビットの損傷痕や切削面の痕跡から原因を想定し、適切な対策を選択するという難しい検討となりました。

委員会の意見を踏まえ、ビットを強化したものに交換する等の対策を実施し切削を再開しましたが、ビットの損傷は大幅に改善されたものの、ビットの一部に欠損が確認されました。このことから、今後の到達立坑までの掘進の確実性を考慮し、立坑切削完了後に必要なビット交換を行うことにしました。現場では、この方針に従い、残りの立坑切削を完了し、令和 4 年 2 月末にビット交換作業を終えました。

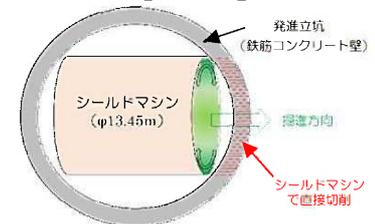
3 月 22 日から掘進を開始し、6 月中旬に約 160m の初期掘進が無事完了し、現在は、本掘進に向けた段取り替えを行っています。

掘進開始にあたっては、シールド工事に対して地域住民の中に不安の声があることから、陥没防止のための施工管理の強化や地域住民の皆様が少しでも安心できるよう沈下測量結果を HP*で情報提供する等の取組みをまとめ、公表しています。

今後とも、工事の安全と地域住民の安心確保に努め、令和 7 年度末の取水開始に向け、着実に工事を推進していきます。 ※HP はこちら→<http://kanzyou7.com/>



【位置図】



【直接切削のイメージ】



【損傷したビット】



【シールドマシン掘進状況】





「土木技術講習会」を開催しました

土木技術支援・人材育成センター

6月29日に議会棟1階の都民ホールにおいて「土木技術講習会」を開催しました。首都東京を成熟都市へと発展させていくためには、偉大な先人たちに学び、社会の変化や都民のニーズに柔軟に対応することが求められています。

今年度は『「成長」と「成熟」が両立した未来の東京の実現に向けて ～インフラ整備の軌跡と針路～』をテーマとして実施しました。

冒頭、花井道路監から開会のご挨拶をいただいた後、以下の3名の講師の方々から、東京の橋梁整備に携わった技術者が目指したもの、社会の変化を踏まえた未来の道路空間、治水政策の歴史や経緯と今後のあり方のそれぞれについてご講演をいただきました。



【開会挨拶:花井道路監】



【講演の様子】

- ①「東京の橋をつくったエンジニアたち 彼らがめざしたものとは」
(公財)東京都道路整備保全公社 紅林 章央 室長
- ②「ライフスタイルとモビリティの変化を見据えた道路の未来」
日本大学理工学部土木工学科 大沢 昌玄 教授
- ③「治水政策の変遷と未来に向けての流域治水」
東京都立大学大学院都市環境科学研究科都市基盤環境学域 今村 能之 教授

今回、建設局や他局、区市町村、一般の方など会場で約100名、併用したオンラインによる聴講で約140名と多数の参加がありました。参加者からは「先人の方々の技術力の高さや将来を見据えた心構え、先見性、実行力などに感銘を受けた」、「近年ライフスタイルやモビリティの変化がある中、これからの道路づくりを考える良い機会となった」、「治水政策の改革や流域治水などのソフト・ハード対策が良くわかった」などの感想をいただきました。

また講演に先立ち、当センターが本年4月に創立100周年を迎えたことから、創立の経緯やこれまでの沿革などを紹介いたしました。

来年度も引き続き、皆様の業務に役立つ講習会を開催してまいります。

センター創立100周年パネル展を行いました

当センターの創立100周年を記念して、講習会の開催と合わせ、同じく議会棟1階の都政ギャラリーにてパネル展を行いました。

大正期から今日に至る業務や組織、調査研究の変遷や、人材育成・技術支援の取組等を紹介しました。





大島川水門テラス連絡橋の完成について

江東治水事務所



【架橋(持ち上げ方式)】

拡幅 3.5m) です。部材選定では、100 年程度使用する想定のもと、ライフサイクルコストを勘案しステンレス鋼を採用しました。橋長は「月島川水門テラス連絡橋」に比べ約 1.2 倍の長さであり、重量は約 2 倍であったことから、通常採用されるクレーン台船を用いた架橋ではなく、ジャッキアップ台船を用いた持ち上げ方式を採用しました。

大島川水門テラス連絡橋は、令和 4 年 5 月に開放しましたが、工事期間中に開放時期に関する問い合わせを多数いただくなど、完成が待ち望まれていました。この連絡橋が出来たことにより、江東区の越中島公園から上流に向かって、小名木川に架かる万年橋を渡ると、豎川水門までのおよそ 3 km のテラス等を連続して通行できるようになり、今まで以上に親しみやすい水辺空間が創出されました。



【連絡橋からの眺め】

この度、隅田川の永代橋下流左岸(南東)にある大島川水門前にテラス連絡橋が完成しました。テラス連絡橋は、水門で分断されていた隅田川テラスを橋で繋ぐことにより、水辺の利便性と回遊性を向上させることを目的としており、計画している三橋のうち、「月島川水門テラス連絡橋」に続く二橋目となります。

橋梁形式はステンレス鋼単純木床版鉸桁橋で、橋長：47.5m／幅員：3m（中央部



【階段下からの眺め】

現在、計画の最後となる豎川水門前のテラス連絡橋が工事中であり、今後更なる連続化が見込まれます。都会にありながら爽やかな風を感じられ、散歩やランニングコースには最適です。日没後には、都会のビル群、ライトアップされた橋梁やテラスに、新たに連絡橋が加わり、ドラマのロケ地にもなるような、今流行りの“映えスポット”として楽しむことができます。

大島川水門テラス連絡橋は「水の都」東京の象徴である隅田川に相応しく、より一層の賑わいを与えます。水と人々を繋ぐ大島川水門テラス連絡橋に、昼夜問わず訪れて頂ければと思います。

こころの健康相談室から vol. 157



建設局の皆さま、こんにちは。今年は記録的に早い梅雨明けとともに猛暑がやってきました。皆さま、体調管理はできていらっしゃるでしょうか。暑い夏が続き、早くも夏バテ気味の方もいらっしゃるかもしれません。今回は「こころの夏バテ」とも言われる「夏季うつ」についてご紹介します。

○夏季うつとは？

夏季うつとは、季節性感情障害（SAD）の一つで、夏の時期に発生する季節性のうつ病の俗称で、6月から9月の夏の時期に症状があらわれると言われています。

夏季うつと夏バテの大きな違いは、身体の不調に加えて心の疲れがあるかどうかです。明確な理由がないにもかかわらず、何をするにもやる気が出ない、気分が優れない、憂鬱な気持ちが続くなど、精神的な不調が見られる場合は、夏季うつである可能性が高いと考えられます。



○夏季うつを防ぐ方法は？

夏季うつ病の引き金となるのは、おもに夏の暑さや環境がもたらすストレスです。暑さによる過度の疲労感や栄養の偏り、睡眠不足、空調の影響による自律神経の働きの乱れなどが夏季うつ病と関係しています。

☑日光を浴びすぎない

日光を浴びた後は、首や手首、ひざの裏側などの皮膚が薄いところを濡らしたタオルや保冷剤で冷やしましょう。

☑体調に合わせた室温設定

体感や体調に合わせた室温設定で過ごしやすい空間を作りましょう。

☑食生活の改善

冷たいものばかりではなく、肉・卵・チーズなどのタンパク質も積極的に摂取しましょう。

☑良質な睡眠

疲労の蓄積や自律神経の乱れにより、夏季うつは発症しやすくなります。睡眠を妨げる要因を排除し、良質な睡眠が取れるよう工夫しましょう。

参考資料：アドバンテッジ ジャーナル HP (<https://www.armg.jp/journal/248-2/>)

東京都職員共済組合 健康増進課 精神保健担当 都庁第一本庁舎 16階
外線：03-5320-7757 内線：25-262

こころの健康相談室



宮澤ハニファ
Hanifa_1_Miyazawa@member.metro.tokyo.jp
吉田由紀
Yuki_6_Yoshida@member.metro.tokyo.jp

ココロとカラダのリフレッシュ ハヤシ建築事務所コーナー

建設局の皆様、こんにちは。西多摩建設事務所補修課の倉田佳歩と申します。社会人となって約4か月になりますが、業務の難しさから平日は家に着くころにはへとへとですし、休日も特に変わったことをしているわけではありません。そんな生活の中で、些細なことですがリフレッシュになっていると思うことをご紹介します。

ストレッチをすること

運動前の準備体操としての役割を思い浮かべる方も多いと思いますが、ストレッチのみでも十分リフレッシュにつながります。1年中、自分のペースで続けることができ、短時間で気持ちよく、リラックス効果が得られるため、忙しい平日にもぴったりです。

特に、深く呼吸をしながらストレッチを行うことで、副交感神経が優位になり、ストレスの軽減につながるそうです。ゆっくりとストレッチを行うと、体も心もリラックスしてきます。背伸びをする、足首を回す、などの簡単なことでも、体がすっきりするので合間を見つけて是非やってみてください。

柔軟な体は怪我予防にも繋がりますし、段々と体の可動域が広がっていくのを実感するのもうれしいと思います。

きれいな風景を見つけること

疲れているとどうしても下を向きがちになってしまうので、特に歩くときは視野を広くすることを心掛けています。

初めて通る道はもちろん、毎日の通勤途中でも、いろいろな発見があります。私は本当に小さな事ばかりですが、ずっと蕾だった花が開いていたり、きれいな夕焼けを見れたときは、明るい気持ちになれます。

また、景色が分かりにくい雨の日は、お気に入りの傘を使うようにしています。高価なものではないですが、無地のビニール傘よりも大切にしようと思えますし、傘は差していると、必ず視界に入るので気分が上がります。外に出ることも少し楽しくなるのでおすすめです！



【雨上がりの夕焼け】

最後に

日常生活の中で、少し見方や習慣を変えるだけでも、リフレッシュにつながると思っています。この記事を機に人に話すまでではなくとも、自分の中で少しでも明るい話題が増えたなと思っていただければ幸いです。最後までお読みいただきありがとうございました。

(西多摩建設事務所 補修課 補修設計担当 倉田 佳歩)

★ このコーナーは、ペンリレーで取り組んでいます。次回は、第四建設事務所 工事第一課 測量担当 奥山藍さんの原稿を掲載させていただく予定です。お楽しみに！

東京水辺ライン イベント便のご案内

東京水辺ラインでは、水上バスのクルージングと色々な企画を合わせたイベント便を運航しています。ぜひご参加ください。なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止のため、中止または延期する場合がございますので、ご了承ください。

昭和の面影を残す佃島散策と『もんじゃ』の昼食

- 爽やかな風を感じながら、隅田川を貸切クルーズで聖路加ガーデン前へ。
- 昭和の面影が色濃く残る佃島界隈を、ガイドの案内で散策。
- 涼しい店内で熱々の鉄板を囲む下町のソウルフード「もんじゃ」の昼食で暑気払い。

◆ 日時・行程：令和4年8月23日（火）・24日（水）9時35分～14時00分
両国リバーセンター受付集合（9：35）⇒水上バス乗船・両国リバーセンター発（9：50）⇒聖路加ガーデン前着・水上バス下船（10：50）⇒中央区ガイドの案内で佃島散策（10：50～）⇒もんじゃ「わらしべ式番街店」にて昼食（12時～）＝自由解散（14時まで）

◆ 料金：大人（中学生以上）：4,500円
※イベントの性質上、中学生以上のみ募集

◆ 募集人数：各日40人
※添乗員同行・最小催行人数11名
※抽選の場合は、当落に関わらず結果をお知らせします

◆ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について
船内での飲酒はご遠慮いただいております。その他、ご乗船いただくお客様へのお願いがございますので、ご参加前に東京水辺ラインHPをご覧ください。



【お問い合わせ】（公財）東京都公園協会 東京水辺ライン

（9時～17時・月曜定休<祝日の場合は翌日>（その他連休あり））

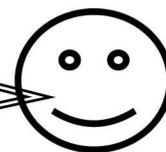
詳しくは、東京水辺ラインのホームページをご確認ください。

<https://www.tokyo-park.or.jp/waterbus/>

東京水辺ラインの水上バスは、建設局が所有する災害時に水上輸送を担う「防災船」です。

8月21日までは平日も毎日定期便を運航しています。ぜひご乗船ください！

建設局に寄せられた都民の声(6月分)



○受付件数と区分

(単位:件)

提言	意見	苦情	要望	問合せ	相談	その他	合計
2	139	878	1,307	343	17	45	2,731

上記区分の定義

提言 : 施策の未実施や不十分さ等について、新たな施策の実施や既存の施策の改善策を具体的に提示し、その実施を求めるもの。

意見 : 施策や職員の行為についての激励・感謝、評論・感想等で、一般的な都政や知事発言等に対する賛否や批判を含むもの。

苦情 : 施策の実施または未実施等に伴う被害等の不都合や職員の対応への不満を申し立てるもの。また、その是正、補償、陳謝等の救済を求めるもの。

要望 : 施策の未実施や不十分さ等について改善を求めるもので、改善の方法等について言及されていないか、あるいは抽象的なもの。

問合せ : 施設の所在地、事務所の所管部署、施策の内容や手続など知りたい点を明示して尋ねるもの。

相談 : 困りごとについて判断の指針や助言、またはそのために必要な情報や対話を通じて求めるもの。

その他 : 都政運営とは直接関係のない事象に関する苦情・要望・提言・意見で、趣旨等不明の訴え等を含むもの。

○寄せられた都民の声と対応事例

▶（都立八柱霊園の通路の整備）

八柱霊園を利用しているものです。いつも園内は綺麗に保たれており、また、車でお墓の近くまで行くことができるので助かっております。ただ、お墓が建立している区画内の通路が未舗装のため、雨が降ったりすると足元が悪くなり、特に車いすを利用するには大変不便です。簡易的にでも舗装してくださると大変助かります。検討していただけないでしょうか。よろしくお願いいたします。

【説明】

八柱霊園をご利用いただきありがとうございます。このたびは、墓所に接する園路の多くが未舗装であることにより、御不便をおかけしております。園路は、区画ごとの状況を確認しながら順に舗装工事を進めておりますので、御不便をおかけしますが、御理解と御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

建設局都民の声 HP 掲載場所

建設局 HP の「情報公開ポータル」内で公開しています。



URL <https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/about/jouhoukoukai-potal/index.html>

けんせつ局報の掲載記事を募集しています！

○ 掲載記事の募集スケジュール

けんせつ局報では、建設局の最新情報記事を募集しています。

日々忙しい中、他部所の情報はなかなか伝わらないもの。そこで、局内情報の共有化を図るため積極的な記事提供をお願いします！！

年度内に各部は6回以上、各所は4回以上のエントリーをしていただいています。これに限らず、**局の仲間**に知ってほしいトピックス、**とっておきの風景**、**仕事で嬉しかったこと**、**面白い本**、**旅先での出来事**や**他都市と東京について考えたこと**などなど、写真や簡単なコメントがあればOKです。是非教えてください。

なお、掲載希望のエントリーや記事の提出等は、各部・所広報担当を通して行ってください。

【2022年9月号の募集スケジュール（予定）】

8月 9日（火） 掲載希望事項エントリー締切

（締切後もエントリーのご相談を受付けます）

10日（水） 掲載事項決定・原稿作成依頼

16日（火） 原稿提出締切

31日（水） 配信

※各部・所におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策の影響による出勤抑制がかかっている状況ですので、上記期限での対応が難しい場合は個別にご相談ください。エントリー希望には可能な限り沿いたいと考えています。

○ バックナンバーの閲覧方法（※建設局職員のみ）

けんせつ局報バックナンバーは、建設ナレッジから閲覧できます。

【ファイル保管場所】

「建設ナレッジ（ナレッジサーバ）」

→ 「1 建設ナレッジ」

> 「本庁フォルダ」

> 「01 総務部」

> 「01 総務課」

> 「けんせつ局報」

※2003年4月以降のけんせつ局報がご覧いただけます

※ けんせつ局報に関するご意見・ご要望等がございましたら、お気軽に広報担当までお寄せください。（広報担当：03-5320-5212 内線：40-024）

※ けんせつ局報は、建設局以外の職員の方々も閲覧できるように、TAIMS 全庁掲示板に掲載しています。



けんせつ日記（7月）



5日（火）世界初！！ミナミイワトビペンギンの凍結精子を用いた人工授精の成功

7日（木）今年は4羽のトキが育っています

8日（水）東京都技術会議の開催

14日（木）都立動物園・水族園からのお知らせ【第6号】

19日（火）花と光のムーブメント 夏の府中の森公園を花で彩ります

25日（月）都市計画道路補助第11号線（白金Ⅱ期）の事業着手

28日（金）恩賜上野動物園乗り物等整備運営に関する
マーケットサウンディング調査の結果を公表します

都立動物園・水族園からのお知らせ【第7号】



編集後記 ～無電柱化～



今月号の表紙は、環状7号線（足立区加平）です。無電柱化された道路で、歩道橋の上からすっきりとした景観が広がります。7月1日から9月30日まで第2回「無電柱化の日」フォトコンテストが開催されていることから、局報の表紙は無電柱にしよう！と私も実際に現場に行って撮ってきました。

建設局で仕事をしていると「無電柱化」は常に耳にするテーマであり、電柱・電線を見かけない都道も徐々に増えてきているなと思います。そんな中、ふと身近な所ではどうだったかなと家の近所を見渡すと、道幅は狭く、電柱・電線だらけで（さらには木密）、近くに整備済の都道もありますが、都道へのアクセスを可能とするためにも、区市町村道の整備が今後の課題であることを感じました。

また、近所に住んでいる友人と散歩をしていたとき、区の無電柱化工事の現場をみて、友人が「電柱を見ない道路が当たり前になるといいね」と言った言葉が印象的で、近い将来、大規模な災害が発生する前にそう実現することが私たちの使命であることを感じました。皆様もフォトコンテスト期間を機に身近なところで電柱・電線の有無を意識してみると、気付くことがあるかもしれないですね。

今月号も最後までお読みいただきありがとうございました。来月号もお楽しみに！

（三島）